

新型コロナウイルス感染症対策における当協会事業(会議・研修)の開催について

一般社団法人 東京都医療社会事業協会

【開催時の留意事項】

- *マスク着用・手洗い・うがい・消毒等は徹底する。※必要に応じてフェイスガード着用
- *会場では3密(密閉・密集・密接)を徹底して回避する。
- *会場はドアや窓を開放するなどして、こまめに換気を行う。
- *参加人数に応じて広めの会場を使用する。
- *座席間隔は、できるだけ2m程度(最低1m)を確保する。
- *消毒液等を使用して、会場ドアノブ、スイッチ、机などを清掃する。
- *WEB会議等、オンラインを積極的に活用し、極力集合しない形での方法を検討する。
- *発熱等の風邪症状がある場合等には、参加を控える(事前に伝える)。
- *参加者の名簿を作成し、連絡先等を把握しておく。
- *感染リスクへの対応が整わない場合は、原則中止または延期を含め慎重な対応をとる。

1. 理事会

参加メンバーの事情を考慮して、開催方法を検討する。必要に応じてWEBと会場の併用開催の環境を整え、実施する。会場開催を行う場合は、留意事項に十分に配慮し、できる限り時短を努力して開催する。

2. 各部会・三役会・その他(小委員会・集い・プロジェクトなど)

参加メンバーの事情を考慮して、開催方法や開催回数を検討する。会場開催を行う場合は、留意事項に十分に配慮し、できる限り時短を努力して開催する。

3. 東京都助成・委託事業(巡回相談・研修・電話相談など)

(1)地域巡回医療福祉相談会(年7回):原則、対面で実施する。(無理なく実現可能な方法を相談する)

(2)医療社会事業従事者講習会:参加人数・開催回数など工夫し、集合研修を計画し実施する。

不足分はレポート提出などで代替可。

(3)定期医療福祉電話相談事業:できるだけ最少人数で、事務局にて実施する。

4. 研修会

集合研修を行う場合には、以下のような対策を行った上で、行うことに致します。今後、変更がある場合には、ホームページ等で随時ご案内を致します。

<当協会としての対策>

○東京都が政府による緊急事態宣言の対象地域となった場合は、研修は中止とします。

○研修会場では、アルコールによる手指消毒や検温、および受講生への体調の確認を行います。検温の結果は、記録をのこすようにします。消毒液等は協会が準備します。

○研修会場は、受講生の2倍以上の定員の会場を選び、ドアや窓を開けておく等、換気を行います。

○座席についても、座席指定や座席同士の距離を確保します。また、受講生名簿の管理を確実にし、万が一の際には、受講生に必ず連絡をとれる体制をとります。

○講師および運営を行う教育部理事は、必ずマスクを着用します。

○グループワークを行う際は、人数を少数とし距離を保つ・互い違いの配置にする等の対策をします。

<受講生の方へのお願い>

- 研修を受講する際は、必ずマスクの着用をお願いします。
- 研修会場における検温を必ず受けていただき、手指消毒の実施の徹底をお願いします。
- 研修会場での検温の結果、37度以上の熱がある場合には、研修への参加を辞退していただくこともありますので、ご了承下さい。
- 受講中、体調不良があれば速やかに申し出て下さい。
- 研修日前後1週間以内に発熱や倦怠感などの体調不良があった場合には、必ずご連絡を下さい。場合によっては、参加の自粛をお願いすることもあります。
- 所属機関に研修に参加することの許可を得て下さい。
- 所属機関から研修受講についての指示が出た場合は、それに従って下さい。

5. 各ブロック活動

参加メンバーの事情を考慮して開催する。WEB会議などオンライン活用も積極的に検討する。会場開催を行う場合は、留意事項に十分配慮し、できる限り時短を努力して開催する・

6. 事務局 業務体制

状況に応じて、出勤日・業務時間短縮など調整を行う。

7. その他

- ・総会については、会場開催のリスクや準備期間など考慮し、開催方法について検討する。(R2年度は書面表決)
- ・住民が参加する会(公開講座など)について、感染予防に十分に配慮し、開催の是非、時期・方法を検討する。
- ・巡回相談会など行政や他団体との共催のものについては、十分に話し合い、開催・参加を検討する。

あくまでも当協会の開催基準であり、それぞれの地域・職場の要請や、ご家庭、ご自身の状況を鑑みて参加を検討してください。ご不明な点がございましたら、協会までご連絡ください。